

平成 15 年 11 月 20 日

各 位

東京都中央区日本橋一丁目 20 番 7 号
松井証券株式会社
代表取締役社長 松井 道夫
(東京証券取引所第一部：8628)
問合せ先：常務取締役経営企画部長 九鬼 祐一郎
TEL：03(3281)3146

「株券ゆうパックサービス」の開始について

松井証券は、平成 15 年 11 月 27 日(木)より、書留小包郵便物「ゆうパック(*)」を利用した株券入庫サービス「株券ゆうパックサービス」を開始します。

(*)全国どこでも翌日・翌々日に配達を行う郵便局の小包郵便サービス

「株券ゆうパックサービス」とは、株券の入庫を希望する顧客に対し、全国の郵便局員が、土日を含めた顧客の希望する日時(*1)に自宅まで株券を無料(*2)で受取りに出向くサービスです。(郵便局の窓口まで株券を直接持ち込むことで入庫することも可能です)

これまで、個人投資家が自宅にある株券を入庫する場合、基本的には株券を郵送するか、平日の昼間に多額の株券を持って証券会社等に出向く方法しか選べず、時間・費用・手間の面で多大な負担があったといえます。この負担の重さこそが、現在、多額の株券が個人投資家の自宅に眠っている大きな理由の一つだと考えます。

しかしながら、今回、松井証券が「株券ゆうパックサービス」を開始することで、当社の顧客は、原則、いつでもどこでも無料で郵便局員が株券を自宅まで受取りに来てくれるため、より手軽に、より安心して株券を入庫することができるようになります。

今回の「株券ゆうパックサービス」は、郵便局の持つ強大なインフラ(全国約 24,000 の郵便局と約 13 万人の郵便局員)と強力なブランド(知名度・安心感)を十二分に活用したサービスであり、株券入庫における個人投資家の利便性は飛躍的に高まると考えています。そのため、松井証券はこのサービスの開始により、今後、30 兆円にのぼるともいわれる「タンス株券」の獲得を目指していきます。(サービス開始当初は月間 2,000 件程度の入庫を想定)

また、この「株券ゆうパックサービス」が拡大し、個人投資家が持つ「タンス株券」が株式市場に流通し始めることで、市場の流動性が増し、市場の活性化につながることも期待しています。

松井証券は、今後も個人投資家の利便性向上および株式市場の活性化につながるサービスの拡充に努めてまいります。

*1：詳細はお近くの郵便局にお問い合わせください。

*2：松井証券への入庫専用の「株券ゆうパックキット」をご利用ください。「株券ゆうパックキット」を利用しない場合、通常の郵送入庫方法となり、郵送料は顧客負担となります。

以上